

宝島学園 生活のしおり

一日の過ごし方

- 登校について
 - 学校の始まりは8時10分です。余裕をもって学校に着くようにします。
 - 欠席や遅刻をするときは、お家の人（里親・寮監さん）が必ず学校へ電話か学校メールで8時10分までに連絡します。
 - 交通ルールを必ず守り安全に気を付けて登校します。
- 休み時間
 - 休み時間は次の準備をする時間です。授業の後始末や次の授業の準備をします。特に、係になっている人は、係としての仕事を忘れずに行うようにします。
 - 教室から出るときは、いすや持ち物の後始末、消灯を心がけます。
 - 昼休みには、外で元気よく遊びます。遊ぶときは次のことを守ります。
 - 校内では右側通行をする。
 - 廊下や階段、教室内では走り回らない。
 - 廊下や教室内のボール遊びはしない。
 - 雨の日は、教室や図書室で静かに過ごします。
- 学習時間
 - 友達と協力し、よく考え、進んで学習に取り組みます。
 - 学習用具の忘れ物がないように注意します。
 - 理科室等の特別教室での学習は、それぞれの教室のきまりをよく守ります。
- 給食
 - 当番の人は、給食着とマスクをきちんと身に付け、安全や衛生に気を付けて仕事をします。
 - 好き嫌いをせず、楽しく、おいしく食べます。
 - 食後は後始末をしっかりとて、必ず歯磨きをします。
- 掃除時間
 - 5分前の放送の合図で、掃除場所に向かいます。
 - 私語はせず、時間いっぱいすみずみまできれいにします。
 - 使った用具の後始末は、責任をもってします。
- 放課後
 - 教室の整理整頓、戸締まり、消灯を確実にします。
 - 下校時刻から遅れないように帰ります。学校で遊ぶときは一度帰宅してからにします。帰宅時刻は年間を通して17:00を基本とします。

部活動（後期課程）の終了時刻は以下の通りです。

時期	4～7月	9～10月	11～1月	2～3月
下校時刻	18:30	18:00	17:30	18:00

学校内外での過ごし方

- 廊下
 - 上履きと下履きは、きちんと区別します。
 - 入り口のマットで、靴底の砂や泥をよく落としてから上がるようにします。
- 水道
 - 水のむだ使いがないように注意します。
 - 使用後はしっかり締めて、じゃ口を下向きにします。
- トイレ
 - トイレでは、必ずスリッパにはきかえます。
 - トイレは汚さないように使い、使った後はきちんと流します。
 - トイレットペーパー以外のものは流しません。
 - 済んだら必ず電気のスイッチを切ったか確認します。
- 学級園・学校園
 - みんなで花や木を大切にします。
 - 進んで草取りや水かけをします。

- 遊び道具
 - 思いやりをもち、ゆずりあって楽しく使います。
 - けがをしないように、正しい使い方をします。
- 公共物
 - 学校の道具は、必ず係の先生か担任の先生の許可を得てから使います。
 - 使ったものは、必ずもとの場所に返します。
- 礼儀
 - 友達や先生・地域の方々に、自分から進んで心のこもった気持ちのよいあいさつをします。
 - 友達同士の言葉、年上の人に対する言葉など、その場に応じた言葉づかいをします。
- 下校
 - 交通ルールを必ず守り、安全に気を付けて下校します。
 - 寄り道をしないで下校します。
- 交通安全
 - 自転車に乗るときは、必ずヘルメットを着用し、安全に十分気をつけます。
 - 自転車は定期的に点検・整備を確実にします。
 - 自転車の二人乗り、手放し運転等は絶対にしません。
- その他
 - 学習に必要なものは持ってきません。（漫画、ゲーム、スマートフォン等）持ち込んだ場合は、学校で預かり、保護者・里親・寮監に返却します。
 - 服装、身なり
 - 爪はこまめに切ります。
 - 学校が指示する日は、「標準服着用 of のしおり」にしたがい、標準服を着用して登校します。
 - それ以外の日には、学習にふさわしい服装、活動しやすい服装で登校します。
 - 装飾品を身に付けません。（ピアス、指輪、ネックレス、ミサンガ等）
 - 化粧や眉そりはしません。
 - 宝島には理容店、美容院等はありませんが、家族などの協力をもらい、頭髪はいつもさっぱりと、そして清潔に整えておくようにします。（特に、前髪は視力低下を防ぐため、眉より下にかからない程度にします。）
 - 髪を染色したり、脱色したり、パーマをかけたりしません。
 - 髪を留めるゴムやピンは、派手でないものを使います。

いじめについて

- いじめをすることは、人として絶対に許されません。ちょっとした冗談やふざけのつもりであっても、友達がいやな気持ちになるようであれば、それは「いじめている」こととなります。絶対に友達をいじめたり、仲間はづれにしたりしません。
- 友達がいやな気持ちになる言葉（悪口やあだ名など）を言ったり友達のたたいたり、友達の物を隠したりすることは絶対にしません。
- いじめられて困ったり、いじめを見たりしたときは、一人で悩まず、先生や家の人に必ず相談しましょう。

校外での遊び

- お家の人がいらない家には、上がりません。
- 家のかぎは必ずかけましょう。
- 遊ぶときは、1人では遊びません。
- でかけるときは、お家の人に行き先と帰る時間を伝え、午後5時までに帰ります。
- 夕方5時よりもあとに、子どもだけで出歩きません。
- コミセンや体育館などは、子どもだけでは使いません。
- 山や海などの危ないところや、人気のないところへは、子どもだけで行きません。特にハブの出没時期の遊び場所には注意します。
- 知らない人の誘いに応じたり、火遊びをしたりなど、危険な遊びは絶対にしません。

※ 分からないことがあったら、学校の先生に相談しましょう。

標準服着用のしおり

宝島学園 生徒指導部

冬 服	上着	<ul style="list-style-type: none"> ○ 白のカッターシャツの上に黒の学生服，またはブレザーを着用する。 ○ セーラー服，または，白のブラウスの上にブレザーを着用する。 ○ 中に色シャツを着用しない。 ○ セーラー服，学生服，ブレザーのボタンはしっかり留める。
	ズボン	○ タック，隠しポケット，変形（しぼり）の無いものを着用する。
	スカート	○ スカート丈は，膝が隠れる程度とする。膝裏の線を基準とする。 (床に膝をつけたときに，スカートが床に触れること)
中間服	上着	<ul style="list-style-type: none"> ○ 白のカッターシャツやブラウスを着用する。 ○ 中に色シャツを着用しない。
	ズボン	○ 冬服に同じ。
	スカート	○ 冬服に同じ。
夏 服	上着	<ul style="list-style-type: none"> ○ 白の半袖カッターシャツ，開襟シャツを着用する。 ○ 半袖のセーラー服，または白の半袖ブラウスを着用する。 ○ 持っていなければ，宝島Tシャツかポロシャツでも可。 ○ 中に色シャツを着用しない。
	ズボン	○ 冬服に同じ。
	スカート	○ 冬服に同じ。
ズボンのベルト		○ 黒系統のものを着用する。（ダブル穴・飾り穴のあるものは着用しない）
くつ下		○ 白，紺，黒のくつ下を着用する。
タイツ		○ 黒のタイツを着用する。
着用時の注意		<ul style="list-style-type: none"> ○ スカートを折って規定の長さより短くしない。 ○ 疾病等，特別な事情がある場合は担任か生徒指導部の先生の許可を得る。
頭髪		<ul style="list-style-type: none"> ○ 髪を染色したり，脱色したり，パーマをかけたりしない。 ○ 視力低下を防ぐため，前髪は眉より下にかからない程度にする。 ○ 特殊な髪型はしない。 ○ 髪を留めるゴムやピンは，派手でないものとする。（女子生徒） ○ 特別な事情がある者は，担任か生徒指導部の先生の許可を得る。
持ち物，装飾品		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習に不要な物を持ってこない。（漫画，雑誌，化粧品，ゲーム機等） ○ 装飾品を身に付けない。（ピアス，指輪，ネックレス，ミサンガ等） ○ 化粧や眉そりはしない。 <p>※ 私物のスマートフォンやタブレット等の持ち込みは禁止する。持ち込んだ場合は学校で預かり，保護者・里親・寮監へ返却する。</p>

※ 標準服とは，入学式，卒業式，始業式，終業式など儀式的行事や，その他に指示がある際に着用する服とする。

冬季の児童生徒の服装について

宝島学園 生徒指導部

1 冬季の服装の基本的な考え

気温や天気に応じて、上着を何枚か重ねて着たり、長ズボン（タイツ）をはいたりする。

2 冬季の服装の基準について

(1) 登下校の服装

- ・ マフラー、手袋、ネックウォーマーは登下校のみ着用してよい。ただし、児童生徒玄関で着脱し、校舎内では着用しない。

(2) 学習の時の服装

- ・ 活動に応じた服装を着用する。安全配慮の必要から、フードのついた服の着用はなるべく避けたほうが望ましい。
- ・ 基本的に教室内などの室内は暖かいので、厚手のコートは、学習の際には脱ぐようにする。また、脱いだコートはたたんで自分のロッカーにて保管する。

(3) その他

- ・ ポケットに手を入れたまま歩かないようにする。
- ・ サイズの大きな服を着用した際は、袖をまくって手がしっかりと出るようにする。
※ 適切なサイズのもを着用し、手がかくれることがないように努める。
- ・ カイロは、体温を自分で調整する力を育てるという考え方や、宝島の寒さはそう厳しくないことから、原則として使用しない。
- ・ 膝掛けを使用したい場合は担任に申し出る。使用しないときには、たたんで自分のロッカーで保管する。

※ 児童生徒の体調に合わせた服装（防寒）については、上記の限りではない。その際は、担任及び生徒指導部の先生に相談する。